

「二木立の医療経済・政策学関連ニュースレター」

2012年総目次（90号～101号。全12号配信）

90号：2012.1.1(日)（16頁）

1. 論文：T P Pに参加するとアメリカは日本医療に何を要求してくるか？
（「深層を読む・真相を解く⑨」 『日本医事新報』2011年12月10日号（4572号）：34-35頁）
2. 論文：混合診療裁判の最高裁判決とその新聞報道等を改めて考える
（「二木教授の医療時評（その99）」 『文化連情報』2012年1月号（406号）：30-35頁）
3. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文（通算73回、2011年分その10：7論文）
4. 私の好きな名言・警句の紹介（その85）－最近知った名言・警句

91号：2012.2.1(水)（20頁＋別ファイル12頁）

1. インタビュー：T P Pへの参加が医療・医薬品産業に与える影響（『国際医薬品情報』2012年1月9日号（953号）：18-23頁）
2. 論文：なぜ私はT P Pに参加しても混合診療が全面解禁される可能性は低いと判断しているか？（「二木教授の医療時評（その100）」 『文化連情報』2012年2月号（407号）：14-19頁）
3. 座談会：（植草一秀、亀井亜紀子、桜井充、二木立、関岡英之）T P Pの本当の話（『月刊／保険診療』2012年1月号（67巻1号）：16-27頁）（別ファイル：1201月刊保険診療座談会.pdf）
4. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文（通算74回、2011年分その11：5論文）
5. 私の好きな名言・警句の紹介（その86）－最近知った名言・警句

92号：2012.3.1(木)（21頁）

1. 論文：東日本大震災・福島原発事故後の医療・社会保障について改めて考える
（「深層を読む・真相を解く⑩」 『日本医事新報』2012年1月28日号（4579号）：28-29頁）
2. 論文：日本の保健・医療・福祉複合体の最新動向と「地域包括ケアシステム」
（「二木教授の医療時評（その101）」 『文化連情報』2012年3月号（408号）：28-35頁）
3. 最近出版された医療経済・政策学関連図書（洋書）のうち一読に値すると思うものの紹介（その22）：10冊
4. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文（通算75回、2011年分その12：5論文）
5. 私の好きな名言・警句の紹介（その87）－最近知った名言・警句

93号：2012.4.1(日) (17頁+論文の表のPDFファイル+別ファイル14頁)

1. 論文：病院勤務医の開業志向は本当に生じたのか？－全国・都道府県データによる検証（「二木教授の医療時評（その102）」『文化連情報』2012年4月号（409号）：16-21頁。表はPDFファイル：12文時評102表.pdf）。
2. 講演録より：介護保険法改正による「地域包括ケアシステム」を複眼的に評価する（「医療・社会保障政策とリハビリテーション医療・ケアの行方（リハビリテーション・ケア合同研究大会くまもと2011・特別講演3）」『地域リハビリテーション』2012年3月号（7巻3号）：211-216頁より）
3. 挨拶：2011年度日本福祉大学大学院学位記授与式での副学長挨拶(2012年3月17日)
4. 大学院「入院」生のための論文の書き方・研究方法論等の私的推薦図書(2012年度版、Ver 14) (別ファイル：12院本推薦.doc)
5. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文（通算76回、2012年分その1：5論文）
6. 私の好きな名言・警句の紹介（その88）－最近知った名言・警句

94号：2012.5.1(火) (19頁+論文の表のPDFファイル)

1. 論文：日本の「薬剤費比率」は今後も上昇し続けるか？（「深層を読む・真相を解く⑫」『日本医事新報』2012年4月14日号（4590号）：30-31頁）
2. 新著『TPPと医療の産業化』の「はしがき」と「章立て」（勁草書房,2012年5月7日発行,2500円+税）
3. 講演録：今後の医療改革と医療費の財源選択－医療経済・政策学の視点から（2012年4月21日第28回日本臨床皮膚科医会総会・臨床学術大会特別講演5。『日本臨床皮膚科医会雑誌』に掲載予定）
4. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文（通算77回、2012年分その2：7論文）
5. 私の好きな名言・警句の紹介（その89）－最近知った名言・警句

95号：2012.6.1(金) (13頁+論文の表のPDFファイル)

1. 論文：医療保険の維持期リハビリテーションは2年後に廃止されるか？（「二木教授の医療時評（その103）」『文化連情報』2012年6月号（411号）：18-23頁）
2. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文（通算78回、2012年分その3：5論文）
3. 私の好きな名言・警句の紹介（その90）－最近知った名言・警句

96号：2012.7.1(日) (27頁)

1. 『TPPと医療の産業化』出版記念インタビュー：TPPは「医療の営利化」の先兵（『文化連情報』2012年7月号（412号）：12-16頁）
2. 論文：宮田和明学長と21世紀COEプログラム（日本福祉大学『社会福祉論集』故宮田和明前学長追悼号：85-95頁,2012年6月）

3. 最近出版された医療経済・政策学関連図書（洋書）のうち一読に値すると思うものの紹介（その23）：9冊
4. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文（通算79回、2012年分その4：5論文）
5. 私の好きな名言・警句の紹介（その91）－最近知った名言・警句

97号：2012.8.1(水)（18頁）

1. 論文：医薬品の経済評価で留意すべき点は何か？（「深層を読む・真相を解く⑭」『日本医事新報』2012年6月30日号（4601号）：28-29頁）
2. 論文：民自公『社会保障制度改革推進法案』をどう読むか？－「社会保障・税一体改革大綱」との異同を中心に（「二木教授の医療時評（その104）」『文化連情報』2012年8月号（413号）：14-18頁）※『日本医事新報』2012年7月7日号（4600号）に「緊急掲載」した同名論文（ただし、副題はなし）に大幅に加筆。
3. 論文：「自助・共助・公助」という表現の出自と意味の変遷（「二木教授の医療時評（その104）」『文化連情報』2012年8月号（413号）：19-21頁）
4. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文（通算80回、2012年分その5：6論文）
5. 私の好きな名言・警句の紹介（その92）－最近知った名言・警句

98号：2012.9.1(土)（10頁）

1. 論文：「日本再生戦略」は「新成長戦略」とどう違うのか？（「深層を読む・真相を解く⑮」『日本医事新報』2012年8月18日号（4608号）：30-31頁）
2. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文（通算81回、2012年分その6：6論文）
3. 私の好きな名言・警句の紹介（その93）－最近知った名言・警句

99号：2012.10.1(月)（10頁）

1. 論文：私はなぜ「医療は永遠の安定成長産業」と考えているのか？（『日本医事新報』連載「深層を読む・真相を解く⑯」2012年9月8日号（4611号）：28-29頁）
2. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文（通算82回、2012年分その7：6論文）
3. 私の好きな名言・警句の紹介（その94）－最近知った名言・警句

100号：2012.11.1(木)（18頁＋別ファイル21頁）

0. ご報告とご挨拶－2013年度から日本福祉大学学長に就任します
1. 論文：『平成24年版厚生労働白書』を複眼的に読む（「二木教授の医療時評（その107）」『文化連情報』2012年11月号（416号）：14-21頁。「『平成24年版厚生労働白書』をどう読むか？」（「深層を読む・真相を解く⑰」『日本医事新報』2012年10月6日号（4611号）：27-28頁、に大幅に加筆）。
2. 学会報告：研究論文はいかにあるべきか－研究倫理を踏まえた研究論文の書き方・指

導方法（2012年10月20日日本社会福祉学会第60回大会秋季大会【研究倫理委員会特別企画研修】基調講義）『現代と文化』（日本福祉大学福祉社会開発研究所）第126号：151-171頁, 2012年9月30日（別ファイル:12現文126.pdf）。

3. 最近出版された医療経済・政策学関連図書（洋書）のうち一読に値すると思うものの紹介（その24）：7冊
4. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文（通算83回、2012年分その8：5論文）
5. 私の好きな名言・警句の紹介（その94）－日本福祉大学学長選挙に立候補する前後に知り、共感した名言、学長（について）の名言（再掲）

101号：2012.12.1(土)（17頁+別ファイル17頁）

1. 論文：医療の電子化で年3兆円の医療費が削減可能？－「日経」・総務省推計の検証
（『日本医事新報』連載「深層を読む・真相を解く⑱」2012年11月10日号(4620号)：30-31頁）
 2. 論文：日本のTPP参加が医療に与える影響についての論争－第7回日韓定期シンポジウムでの報告
（「二木教授の医療時評（その108）」『文化連情報』2012年12月号（417号）：12-18頁）
 3. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文（通算84回、2012年分その9：5論文）
 4. 私の好きな名言・警句の紹介（その95）
- 補. 「ニューズレター」2012年総目次（90～101号。全12号）（別ファイル：12NL目次.doc）
－医療経済・政策学関連の洋書・英語論文の目次、名言・警句の人名索引付き。

「二木立の医療経済・政策学関連ニューズレター」2012年（90～101号）
最近出版された医療経済・政策学関連図書（洋書）のうち一読に値すると思うものの紹介
2012年目次：3回・合計26冊（累計185冊）

92号:2012.3.1(木)：(その22)：10冊

- 『誰が生きながらえるべきか？医療、経済学と社会的選択 [増補第2版]』
(Fuchs VR: Who shall live? -Health, Economics and Social Choice 2nd Expanded Edition, World Scientific, 2011,345 pages) [中級教科書兼研究論文集]
- 『医療経済学ハンドブック 第2版 [新版]』
(Pauly MV, McGuire TS, Barros RP (Eds): Handbook of Health Economics Volume Two. Esilver, 2012,1126 pages) [上級教科書]
- 『医療経済学入門 [第2版]』
(Guinness L, Wiseman V (Eds): Introduction to Health Economics. Open University Press, 2011,275 pages) [初級教科書]
- 『図表でみる [OECD加盟国の] 保健医療 2011 OECDインディケーター』
(Health at a Glance 2011 OECD Indicators. OECD, 2011, 199 pages) [概説書]
- 『医療上の意志決定－医療経済学入門』
(Felder S, Mayrhofer: Medical Decision Making - A Health Economics Primer. Springer, 2011,200 pages) [上級教科書]
- 『医療政策入門－アメリカ医療の組織、財政および提供 [制度] [第3版]』
(Barr DA: Introduction to U.S. Health Policy - The Organization, Financing, and Delivery of Health Care in America. The Johns Hopkins University Press, 2011,355 pages) [初級教科書]
- 『 [イギリスNHSのメゾレベルでの] 医療の配給－優先順位設定の理論と実際』
(Williams I, Robinson S, Dickinson H: Rationing in Health Care - The Theory and Practice of Priority Setting, The Policy Press, 2012,159 pages) [概説書]
- 『 [イギリスの] 医療政策の形成 [過程] －批判的入門書』
(Alaszewski A, Brown P: Making Health Policy - A Critical Introduction. Polity Press,2012,292 pages) [中級教科書兼研究書]
- 『 [イギリスの] 医療政策の形成－ケーススタディの方法と分析』
(Exworthy M, Peckham S, Powell M, Hann A (Eds.): Shaping Health Policy - Case Study Method and Analysis. The Policy Press, 2012,348 pages) [研究書]
- 『 (アメリカの) 医療機器と市民の健康－FDAの501(k)条項の認可プロセスの35年』
(Committee on the Public Health Effectiveness of the FDA 510(k) Clearance Process, Board on Population Health and Public Health Practice, Institute of Medicine of the National Academies: Medical Devices and the Public's Health - The FDA 510(k) Clearance Process at 35 years. The National Academy Press, 2011,298 pages) [調査報告書]

96号:2012.7.1(日)：(その23)：9冊

- 『 [エントーベン] 医療、市場と消費者選択』
(Enthoven A: Health Care, the Market and Consumer choice. Edward Elgar, 2012,310 pages) [論

文（評論）集]

○『環境、健康、交通政策における死亡リスクの金銭表示』

(Lindhjem H, Navrud S, et al: Mortality risk valuation in Environment, Health and Transport Policies. OECD, 2012, 139 pages. [研究書])

<医療経済学教科書（7冊）…2012年は医療経済学教科書（改訂）の「当たり年」です>

○『[スローン等] 医療経済学』

(Sloan F A, Hsieh C-R: Health Economics. The MIT Press, 2012, 780 pages) [中級教科書]

○『[フォランド] 健康と医療の経済学 第7版』

(Folland S, Goodman AC, Stano M: The Economics of Health and Health Care Seventh Edition. Pearson, 2013, 602 pages) [中級教科書]

○『[フェルドシュタイン] 医療経済学 第7版』(Feldstein PJ: Health Care Economics Seventh Edition. Thomson Delmar Learning, 20012, 567 pages) [中級教科書]

○『[フェルプス] 医療経済学 第5版』

(Phelps CE: Health Economics Fifth Edition. Pearson, 2013, 534 pages) [中級教科書]

○『エルガー社版医療経済学便覧 第2版』

(Jones AM (ed): The Elgar Companion to Health Economics Second Edition, Edward Elgar, 2012, 621 pages) [中級教科書]

○『医療の経済分析 第2版』(Morris S, et al: Economic Analysis in Health Care Second Edition. John Wiley & Sons, 2012, 386 pages) [中級教科書]

○『諸国民の健康－新しい政治経済学へ向けて』

(Mooney G: The Health of Nations: Towards a New Political Economy. Zed Books, 2012, 212 pages) [評論]

100号:2012.11.1(木)：(その24)：7冊

○『医療ツーリズムのリスクと挑戦－医療サービスの世界市場を理解する』

(Hodges JR, Turner L, Kimball AM (eds.): Risks and Challenges in Medical Tourism - Understanding the Global Market for Health Services. Praeger, 2012, 329 pages) [研究論文集]

○『医療ツーリズム－レファレンス・ハンドブック』

(Stolley K, Watson S: Medical Tourism - A Reference Handbook. ABC-CLIO, 2012, 343 pages) [小百科事典]

○『OECD医療の質レビュー [シリーズ] 韓国－水準の引き上げ』

("OECD Reviews of Health Care Quality Korea - Raising Standards. OCED, 2012, 166 pages) [調査報告]

○『ヨーロッパの医療改革－市場モデルへの収斂?』

(Verspohl I: Health Care Reform in Europe - Convergence Towards a Market Model? Nomos, 2012, 328 pages) [国際比較研究]

○『医療改革とグローバリゼーション－アメリカ、中国およびヨーロッパの比較』

(Watson P (ed.): Health Care Reform and Globalisation - The US, China and Europe in Comparative Perspective. Routledge, 2012, 213 pages) [国際比較研究 (論文集)]

○『治療と反応－医療改革をめぐる奇妙なアメリカの闘い』

(Star P : Remedy and Reaction. Yale University Press, 2011, 324 pages) [政策研究]

○ 『医療評価』

(Bausell RB (ed.): Health Evaluation (Fundamentals of Applied Research Series), Sage, 2012, 4 volumes, 401+398+397+435 pages) [重要論文選]

「二木立の医療経済・政策学関連ニュースレター」2012年(90～101号)

最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文目次:合計67論文

90号(2012.1.1)

3. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文

(通算73回. 2011年分その10:7論文)

○医療保険の管理費用 [割合] の国際比較: 何が見出されたバラツキの原因なのか?

(Mathauer I, et al: A global overview of health insurance administrative costs: what are the reasons for variations found. Health Policy 102 (2-3) :235-246,2011) [量的研究、国際比較]

○ [イギリスにおける] 2型糖尿病を予防するためのライフスタイルへの介入の費用対効果 [費用効用分析]

(Irvine L, et al: Cost-effectiveness of a lifestyle intervention in preventing type 2 diabetes. International Journal of Technology Assessment in Health Care 27 (4) :275-282,2011) [量的研究]

○プライマリケア医による良質な疾病管理は入院費用を削減するか? イギリスのプライマリケアで得られた証拠

(Dsuheiko M, et al: Does better disease management in primary care reduce hospital costs? Evidence from English primary care. Journal of Health Economics 30 (5) :919-932,2011) [量的研究]

○ [アメリカの] メディケア健康支援疾病管理モデル事業の結果

(McCall N, et al: Results of the Medicare Health Support disease-management pilot program. The New England Journal of Medicine 365 (18) :1704-1712,2011) [量的研究]

○スウェーデンにおける高齢者ケアの消費者: 選択の見せかけ

(Meinow B, et al: Consumers of eldercare in Sweden: The semblance of choice. Social Science and Medicine 73 (9) :1285-1289,2011) [量的研究]

○1年生存の金銭的価値: [オーストラリアでの] 治療費の質的研究から得られた証拠

(Mckie J, et al: The monetary value of a life year: Evidence from a qualitative study of treatment costs. Health Economics 20 (8) :945-957,2011) [質的研究]

○医療文献におけるN=1実験-体系的文献レビュー

(Gabler NB, et al: N-of-1 trials in the medical literature - A systematic review. Medical Care 49 (8) :761-768,2011) [文献レビュー]

91号(2012.2.1)

4. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文

(通算74回. 2011年分その11:5論文)

○医師と市場: オランダにおける市場 [メカニズムを重視した医療] 改革が外科医と一般医の専門職医療倫理に与える影響

(Dwarswaard J, et al: The doctors and the market: About influence of market reforms on the professional medical ethics of surgeons and general practitioners in the Netherlands. Health Care

Analysis 19(4):388-402,2011) [質的研究]

○ドイツにおける医師供給 [の増加] が避けられる癌死亡に与える影響：空間分析

(Sundmacher L, et al: The impact of physician supply on avoidable cancer deaths in Germany. A spatial analysis. Health Policy 103(1):53-62,2011) [量的研究]

○フランスの低所得一般医は少ない労働を選択しているのか？

(Samson A-L: Do French low-income GPs choose to work less? Health Economics 20(9):1110-1125,2011) [量的研究]

○アメリカの医師の診察料が高いことがアメリカの医師サービス費用を他国に比べ高くしている

(Laugesen MJ, et al: Higher fees paid to US physicians drive higher spending for physician services compared to other countries. Health Affairs 30(9):1647-1656,2011) [量的研究、国際比較]

○[アメリカにおける]グループ診療モデル事業の興醒めな教訓(Wilensky GR: Lessons from the physician group practice demonstration - A sobering reflection. The New England Journal of Medicine 365(18):1659-1661,2011) [評論]

年92号(2012.3.1)

4. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文

(通算75回. 2011年分その12:5論文)

○ [ベルギーにおける] 社会経済的要因が病院の在院日数に与える影響とそれが1入院当たり [診断群分類] 定額払い方式にもたらす結果

(Perelman J, et al: Impact of socioeconomic factors on in-patient length of stay and their consequences in per case hospital payment systems. Journal of Health Services Research & Policy 16(4):197-202,2011) [量的研究]

○ [アメリカにおける] 心筋梗塞後の予防的薬物療法の全額保険給付

(Choudhry NK, et al: Full Coverage for Preventive Medications after Myocardial Infarction. New England Journal of Medicine 365(22):2088-2097,2011) [量的研究]

○再入院 [率] 一質の指標ではまったくない

(Kangovi S, et al: Hospital readmissions - Not just a measure of quality. JAMA 306(16):1796-1797,2011) [評論]

○ [オランダにおける] 政府の患者組織に対する影響

(Van de Bovenkamp, et al: Government influence on patient organizations. Health Care Analysis 19(4):329-351,2011) [文献研究]

○ [全体的] 患者満足度の決定要因：ドイツの39病院の入院患者の調査

(Schoenfelder T, et al: Determinants of patient satisfaction: a study among 39 hospitals in an in-patient setting in Germany. International Journal for Quality in Health Care 23(5):503-509,2011) [量的研究]

93号(2012.4.1)

5. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文

(通算76回. 2012年分その1:5論文)

○国際医療保険連盟2011年価格比較レポート

(iFHP 2011 comparative price report: <http://www.ifhp.com/news97.html>) [国際比較調査]

○【アメリカの】非高齢者【世帯】における処方薬の経済的負担は最近減少しているが、多くの世帯にとってはまだ重い

(Gellad WF, et al: The financial burden from prescription drugs has declined recently for the nonelderly, although it is still high for many. Health Affairs 31 (2):408-416,2012) [量的研究]

○アメリカの医療費の伸びは2010年も低く、そのGDPに対する割合も2009年から変わらなかった

(Martin AB, et al: Growth in US health spending remained slow in 2010; Health share of gross domestic product was unchanged from 2009. Health Affairs 2012 (1):208-219,2012) [公式統計の解説]

○医薬品のイノベーションはどれほど革新的か？フランスのDRG方式の入院支払い制度の枠外で追加支払いがなされている医薬品の事例

(Gridchyna I, et al: How innovative are pharmaceutical innovations? The case of medicine financed through add-on payments outside of the French DRG-based hospital payment system. Health Policy 104 (1):69-75,2012) [事例研究]

○【オランダにおける】医療イノベーションと年齢別の医療利用の趨勢：知見と含意

(Wong A, et al: Medical innovation and age-specific trends in health care utilization: Findings and implications. Social Science & Medicine 74 (2):263-272,2012) [量的研究]

94号(2012.5.1)

3. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文

(通算77回. 2012年分その2:7論文)

○日本と韓国の公的医療保険の展開の分岐：多保険制度vs単一保険制度

(Jeong H-S(丁炯先)、Niki R(二木立): Divergence in the development of public health insurance in Japan and the Republic of Korea: A multi-payer versus a single-payer system. International Social Security Review 65:51-73,2012) [比較研究]

URL : <http://onlinelibrary.wiley.com/doi/10.1111/j.1468-246X.2012.01428.x/full>

○ゲノム科学は費用曲線を曲げる【医療費増加率を抑制する】ことができるか？

(Armstrong K: Can Genomics bend the cost curve? JAMA 307 (10):1031-1032,2012) [評論]

○長期ケアと終末期ケアとの交差【についてのアメリカの研究の体系的文献レビュー】

(Huskamp H, et al: The intersection of long-term care and end-of-life care. Medical Care Research and Review 69 (1):3-44,2012) [文献レビュー]

○【アメリカでの】医療サービスの地域間変動と過剰利用の関係—体系的文献レビュー

(Keyhani S, et al: The relationship between geographic variations and overuse of healthcare services. Medical Care 50 (3):257-261,2012) [量的研究]

○医療のプロセス改善が患者のアウトカムに与える影響—イギリスの質・アウトカム枠組み【を用いた医療の質に基づく支払いプログラム】から得られたエビデンス

(Ryan AM, et al: The effect of improving process of care on patient outcomes - Evidence from the

United Kingdom's quality and outcomes framework. Medical Care 50 (3):191-199,2012) [量的研究]

○イギリスにおける病院安全問題についての注目度が高い調査は患者の病院変更を促進しなかった

(Lavery AA, et al: High-profile investigations into hospital problems in England did not prompt patients to switch providers. Health Affairs 31 (3):593-601,2012) [事例研究]

○競争はイギリス医療のアウトカム [医療の質] を向上させられるか? 過去20年の [経験から得られる] 教訓

(Gaynor M, et al: Can competition improve outcomes in UK health care? Lessons from the past two decades. Journal of Health Services Research & Policy 17 (Suppl 1):49-54,2012) [文献レビュー]

95号(2012.6.1)

2. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文

(通算78回. 2012年分その3:5論文)

○特集・ [アメリカの] 癌医療の論点: 価値、費用と質

(Issues in cancer: Value, costs & quality. Health Affairs 31 (4):667-796,2012)

○アメリカの医療費のヨーロッパに比した高さは癌医療では価値があるかについての分析

(Philipson T, et al: An analysis of whether higher health care spending in the United States versus Europe is "worth it" in the case of cancer. Health Affairs 31 (4):667-675,2012) [量的研究]

○ [カナダ] オンタリオ州の病院の医療費水準と死亡率・再入院率との関連

(Stukel TA, et al: Association of hospital spending intensity with mortality and readmission rates in Ontario hospitals. JAMA 307 (10):1037-1045,2012) [量的研究]

○ [デンマークにおける] 患者の社会的人口学的プロフィールと病院効率: 患者ミックスは病院のパフォーマンスに影響を与えるか?

(Gyrd-Hansen D, et al: Socio-demographic patient profiles and hospital efficiency: Does patient mix affect a hospital's ability to perform? Health Policy 104 (2):136-145,2012) [量的研究]

○入院サービスにおける症例数とアウトカムの関係の評価: [医療] サービスの集中化への含意

(Harrison A: Assessing the relationship between volume and outcome in hospital services: Implications for service centralization. Health Services Management Research 25 (1):1-6,2012) [理論研究・文献レビュー]

96号(2012.7.1)

4. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文

(通算79回. 2012年分その4:5論文)

○ [アメリカの] メディケアとメディケイドの費用変動は病院圏レベルでは強くリンクしているが、州レベルではリンクしていない

Kronick R, et al: Medicare and Medicaid spending variations are strongly linked within hospital regions but not at overall state level. Health Affairs 31 (5):948-955,2012 [量的研究・評論]

○医療制度介入・改革の効果についての文献レビューにおける研究デザイン選択基準：メタレビュー

(Rockers PC, et al: Study-design selection criteria in systematic reviews of effectiveness of health systems interventions and reforms: A meta-review. Health Policy 104 (3) :206-214,2012) [文献レビュー]

○医療制度効率の決定要因としての医療政策手段（ツール）：OECD加盟国から得られた根拠

(Wranik D: Healthcare policy tools as determinants of health-system efficiency: Evidence from the OECD. Health Economics, Policy and Law 7 (2) :197-226,2012) [政策研究・量的研究]

○文献書誌学的視点からみた医療経済学の40年

(Wagstaff A, Culyer AJ: Four decades of health economics through a bibliometric lens. Journal of Health Economics 31 (2) :406-439,2012) [文献レビュー（メタアナリシス）]

○アメリカ医療の無駄を省く

(Berwick DM, et al: Eliminating waste in US health care. JAMA 307 (14) :1513-1516,2012) [評論]

97号(2012.8.1)

4. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文

(通算80回. 2012年分その5:6論文)

○アメリカの高齢者の半数は死亡月に〔病院の〕救急外来を受診し、その大半が入院し、多くが病院で死亡している

(Smith AK, et al: Half of older Americans seen in emergency department in last month of life; Most admitted to hospital, and many die there. Health Affairs 31 (6) :1277-1285,2012) [量的研究]

○〔アメリカの〕ナーシングホーム入所者の〔病院の〕救急外来受診：認知症重症度が与える影響

(Stephens CE, et al: Emergency department use by nursing home residents: Effect of severity of cognitive impairment. The Gerontologist 52 (3) :383-393,2012) [量的研究]

○〔アメリカの〕患者の救急診療に対する選好：それは変えられるか、変えるべきか？

(DeLia D, et al: Patient preference for emergency care: Can and should it be changed? Medical Care Research and Review 69 (3) :277-293,2012) [量的研究]

○〔アメリカにおける〕救急診療部、メディケア費用、およびプライマリケアへのアクセスー三者のリンクを理解する

(Kellermann A, et al: Emergency departments, Medicaid costs, and access to primary care - Understanding the link..The New England Journal of Medicine 366 (23) :2141-2143,2012) [評論]

○〔アメリカにおける〕集中治療終了後の長期急性期病院利用のバラツキ

(Kahn JM, et al: Variation in long-term acute care hospital use after intensive care. Medical Care Research and Review 69 (3) :339-350,2012) [量的研究]

○アメリカのホスピス産業は開設者と成長の変化、営利へのシフトという激変の中にある
(Thompson JW, et al: US hospice industry experienced considerable turbulence from changes in

ownership, growth, and shift to for-profit status. Health Affairs 31 (6) :1286-1293,2012) [量的研究]

98号(2012.9.1)

**2. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文
(通算81回. 2012年分その6:6論文)**

○病院医療への支払い：ヨーロッパ5カ国における [診断群分類を用いた] 活動基準の支払い実施の経験

(O'Reilly J, et al: Paying for hospital care: The experience with implementing activity-based funding in five European countries. Health Economics, Policy and Law 7 (1) :73-101,2012) [文献レビュー・国際比較研究]

○医療における質に基づく支払い (P4P)： [アメリカ以外の国で実施されている] プログラムの国際的概観

(Eijkenaar F: Pay for performance in health care: An international overview of initiatives. Medical Care Research and Review 69 (3) :251-276,2012) [文献レビュー・国際比較研究]

○ [台湾における] 糖尿病医療に対する質に基づく支払いプログラムの縦断的調査－自然実験に基づく根拠

(Cheng S-H, et al: A longitudinal examination of a pay-for-performance Program for diabetes care - Evidence from a natural experiment. Medical Care 50 (2) : 109-116,2012) [量的研究]

○ [アメリカにおける] プレミア [病院の質インセンティブ・モデル事業の] 質に基づく支払いが患者のアウトカムに与える長期的影響

(Jha AK, et al: The long-term effect of Premier pay for performance on patients outcomes. The New England Journal of Medicine 366 (17) :1606-1615,2012) [量的研究]

○ [アメリカの] メディケア医療連携モデル事業のうち、ハイリスク患者の入院を減らしたプログラムの6つの特性

(Brown RS, et al: Six features of Medicare coordinated care demonstration programs that cut hospital admissions of high-risk patients. Health Affairs 31 (6) :1156-1166,2012) [量的・質的研究]

○共同責任：今日の医療の新しい視点？

(Co-responsibility: A new horizon for today's health care? Health Care Analysis 20 (2) :139-151,2012) [理論研究]

99号(2012.10.1)

**2. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文
(通算82回. 2012年分その7:6論文)**

○医療アクセスの保証－ドイツは [医療] 提供構造を改革し不平等と取り組む

(Ozegowski, S, et al: Ensuring access to health care - Germany reforms supply structures to tackle inequalities. Health Policy 106 (2) :105-109,2012) [政策研究]

<アメリカのメディカル・ホームの評価 (2論文)>

○ [アメリカの] 患者中心のメディカルホームは機能しているか？患者中心のメディカル

ホームと患者関連アウトカムについての文献の批判的統合

(Alexander Jeffrey, et al: Does the patient-centred medical work? A critical synthesis of research on patient-centred medical homes and patient-related outcomes. Health Services Management Research 25 (2):51-59,2012) [文献レビュー]

○連邦政府が資金を負担した保健センターでの患者中心のメディカルホーム評価と運営費との関連

(Nocon RS, et al: Association between patient-centered medical home rating and operating cost at Federally funded health centers. JAMA 308 (1):60-66,2012) [量的研究]

<医療の経済評価（3論文）>

○費用効果分析は公平についての関心を統合できるか？体系的文献レビュー

(Johri M: Can cost-effectiveness analysis integrate concerns for equity? Systematic Review. International Journal of Technology Assessment in Health Care 28 (2):125-132,2012) [文献レビュー]

○現実世界の対象人口を対象とした介入の（費用・）効果の計算：RCTと観察データの両方の強みを結合する可能性

(Neyt M, et al: Calculating an intervention's (cost-) effectiveness for the real-world target population: The potential of combining strengths of both RCTs and observational data. Health Policy 106():207-210,2012 [評論]

○統計的生命価値の推計は誇張されているか？

(Doucouliagos C, et al: Are estimates of the value of a statistical life exaggerated? Journal of Health Economics 31 (1):197-206,2012) [理論研究・量的研究]

100号 (2012.11.1)

4. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文

(通算83回. 2012年分その8:5論文)

○西側諸国の病院での医師・経営者間の起業的アプローチの駆動力としての組織内ダイナミックス

(Koelewijn WT, et al: Intra-organizational dynamics as drivers of entrepreneurship among physicians and managers in hospitals of western countries. Social Science & Medicine 75 (5):795-800,2012) [理論研究・文献レビュー]

○病院の開設者と効率：ドイツに焦点を充てた文献レビュー

(Tiemann O, et al: Hospital ownership and efficiency: A review of studies with particular focus on Germany. Health Policy 104 (2):163-171,2012) [文献レビュー]

○ドイツの急性期病院の開設者と財政的持続可能性

(Augurzky B, et al: Ownership and financial sustainability of German acute care hospitals. Health Economics 21 (7):811-824,2012) [量的研究]

○【アメリカおける】病院の所有形態と治療選択

(Bayindir EE: Hospital ownership type and treatment choices. Journal of Health Economics 31 (2):359-370,2012) [量的研究]

○【アメリカにおける】ナーシングホームの財務実績：所有形態とチェーン加盟の役割

(Weech-Maldonado R, et al: Nursing home financial performance: The role of ownership and chain affiliation. Health Care Management 37 (3):235-245,2012) [量的研究]

101号(2012.12.1)

3. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文

(通算84回. 2012年分その9:5論文. 1論文のみ2011年)

○人々はどこで死んでいるのか？ 公刊または入手可能な統計を用いた、45報告 [36の国と地域] における病院と老人入所施設での死亡割合の国際比較

(Broad JB, et al: Where do people die? An international comparison of the percentage of deaths occurring in hospital and residential aged care settings in 45 populations, using published and available statistics. International Journal of Public Health, 2012 August 15 (Published online)) [国際比較研究]

○ [アメリカにおける] 心血管系 [疾患] 死亡率減少に対する予防と治療の寄与：40年間の論争の教訓

(Jones DS, et al: The contributions of prevention and treatment to the decline in cardiovascular mortality: Lessons from a forty-year debate. Health Affairs 31 (10):2250-2258,2012) [総説]

○心血管系疾患死亡率低下における予防対治療の [寄与率] 割合：公衆衛生対臨床医学

(Ford ES, et al: Proportion of the decline in cardiovascular mortality disease due to prevention versus treatment: Public health versus clinical care. In: The Annual Review of Public Health 32:5-22,2011) [文献レビュー]

○革新的医薬品のドイツとフランスの2001-2007年の余命延長への寄与

(Lichtenberg FR: Contribution of pharmaceutical Innovation to longevity growth in Germany and France, 2001-7. PharmacoEconomics 30 (3):197-211,2012) [量的研究]

○アメリカは医療により回避可能な死亡の改善面でヨーロッパ3か国に遅れをとっている

(Nolte E, et al: In amenable mortality - deaths avoidable through health care - progress in the US lags that of three European countries. Health Affairs 31 (9):2114-2122,2012 [国際比較研究]

「二木立の医療経済・政策学関連ニューズレター」2012年（90～101号）

「私の好きな名言・警句の紹介」2012年分 人名索引

注：カッコ内は「ニューズレター」の号数。各行ごとに「ニューズレター」掲載順。外国人は姓のみ（ただし例外あり。例：トム・クルーズ）。映画・テレビドラマ・芝居のセリフはその名称（「」表示）。カッコ内の(A=B)：B号で初めて紹介したもののA号での再掲。

あ行

小沢昭一(90=83),Economist(90),落合博満(90),梅原猛(91,100=13),池田正行(91),内橋克人(91),内村航平(92),イーストウッド,C(92),浅尾拓也(92),大田仁史(92),池谷裕二(93),岡本厚(93),安富歩(94),尾崎豊(94),伊集院光(94),雨宮処凛(94),伊勢谷友介(94),小野正昭(95),太田啓之(95),池内了(95),押川正毅(96),大江健三郎(96),尾形裕也(96),ヴァレリー,P(96),赤塚不二夫(96),オバマ,B(96),伊集院静(97),井上英夫(97),足立淳子(98),アカロフ,JA(98),大瀧雅之(98),大橋雄二(98,100=98),「愛少女ポリアンナ物語」(98),阿部修人・阿部謹也(100=27),上野千鶴子(100)

か行

稀勢の里(91,100),柏原竜二(91),玄田有史(91),片岡珠子(91),黒井千次(93),樺山紘一(93),キーン,D(94),清武英利(94),鶴竜(94),菅直人(94),行天良雄(96),小池光(96),川本三郎(96),貝塚茂樹(97),郷ひろみ(97),クラントン,RE(98),ガードナー,D(98),川島正次郎(98),ケインズ(99),児玉聡(99),桂三枝(100),小林興起(100),京極高宜(100=56),小谷野敦(100=75),君原健二(101),瀬瀬一起(101),栗山英樹(101)

さ行

坂口一樹(90),斉藤環(90),酒井邦嘉(91=22),佐伯啓思(91),瀬戸内寂聴(93),須賀三郎(94),坂野淳治(95),佐和隆光(95),坂野淳治(95,97),佐渡裕(96),新藤兼人(96),杉岡華邨(97),スタイナー,J(98),鈴木邦男(99),昇地三郎(100),諏訪兼位(100=13),佐治晴夫(100=60),「純と愛」(101),城山三郎(101),篠山紀信(101),ジェームズ三木(100)

た行

豊田泰光(90),田中将大(90),田中慎弥(92),俵万智(92),利根川進(92,93=92,93),多胡輝(92),高橋光臣(97),高橋孝郎(97),高橋伸彰(99),ダンシャン,A(99),高瀬淳一(101)

な行

中野剛志(90,99),鳴門親方(91),中江兆民(92),ニーチェ(94,97,100=30,97),中村哲也(94=7),野口武則(94),西部邁(95),野村万作(95),沼上幹(97),奈良美智(100),野田和夫(100=12)

は行

古市憲寿(90),フックス,V,R(91,101=21,50),林健太郎(91),長谷部純(91),平櫛田中(92),羽田正(93),林望(94),日野皓正(95),本庄丕(96),保阪正康(96),バーンスタイン,L(96),原田正純(98),ハイデガー(98),「ポリアンナ物語」(99),ファクラー,M(99),藤本義一(99),日馬富士(100),平野真一(100=53),ペイジ,S(101)

ま行

村上春樹(90=85),宮田大(90),森永卓郎(91),松本紀保(91),松平康隆(91),森藤益(92),宮脇修

(92),森富雄(92),正岡子規(92),宮本慎一(95),水田洋(97),本村凌二(98),森島昭夫(100=53)

や行

吉川宏志(92),山根一眞(93=53),湯浅誠(93,95,98,99),箭内道彦(93),山田美也子(95),養老孟司(95),山本昌(95),夢枕獏(95),山田孝男(95),湯川秀樹(96,97),山田洋次(96,101),米沢富美子(97),山田五十鈴(97),横山康行(100),吉川弘之(100=53),ヨー,M(101)

ら行

ルイス,L(90)

わ行

若月俊一(92),ワトソン,J(94=52),渡部昇一(94),鷺田清一(96),若松孝二(97),ルメット,S(97),渡辺和子(100,101)